



# モユウ・カムイ 65

●モユウ・カムイとはアイヌ語で「雪/冬/冬の事」のことです。

NO.  
65  
APR 2003

あさひやまどうぶつニュース  
ASAHIYAMAZOO NEWS

もくじ

シリーズ  
「ぼくは動物大使」  
その26 極寒に生きる②  
ホッキョクギツネ  
2. 3

2003年 今年も魅せます  
旭山動物園みどころマップ  
4. 5

こども牧場だより  
動物園事情 6

2003年版カレンダー  
7

できごと  
飼育動物数  
編集後記 8

ホッキョクギツネ  
*Alopex lagopus*



# ぼくは、 動物大使 その26 極寒に生きる②ホッキョクギツネ

## ホッキョクギツネ

*Alopex lagopus*

北アメリカ、ユーラシア大陸の沿岸部、ツンドラ地帯に生息。

体重は3~4kg。夏期の食物は、レミング類（ハタネズミの仲間）が多く、餌の乏しい厳寒期は、ホッキョクグマが食べ残したアザラシの死肉が重要な食料となる。

美しく良質な毛皮を目的とした乱獲や、地下資源開発による、アラスカ沿岸部の環境破壊により、彼らの生存は著しく脅かされている。

## 旭山のホッキョクギツネ



オス 1才  
02' 4月生まれ

人なつっこい  
性格です。



メス 1才  
02' 5月生まれ

おちつきのない  
性格です。

2頭とも02' 7月24日入園

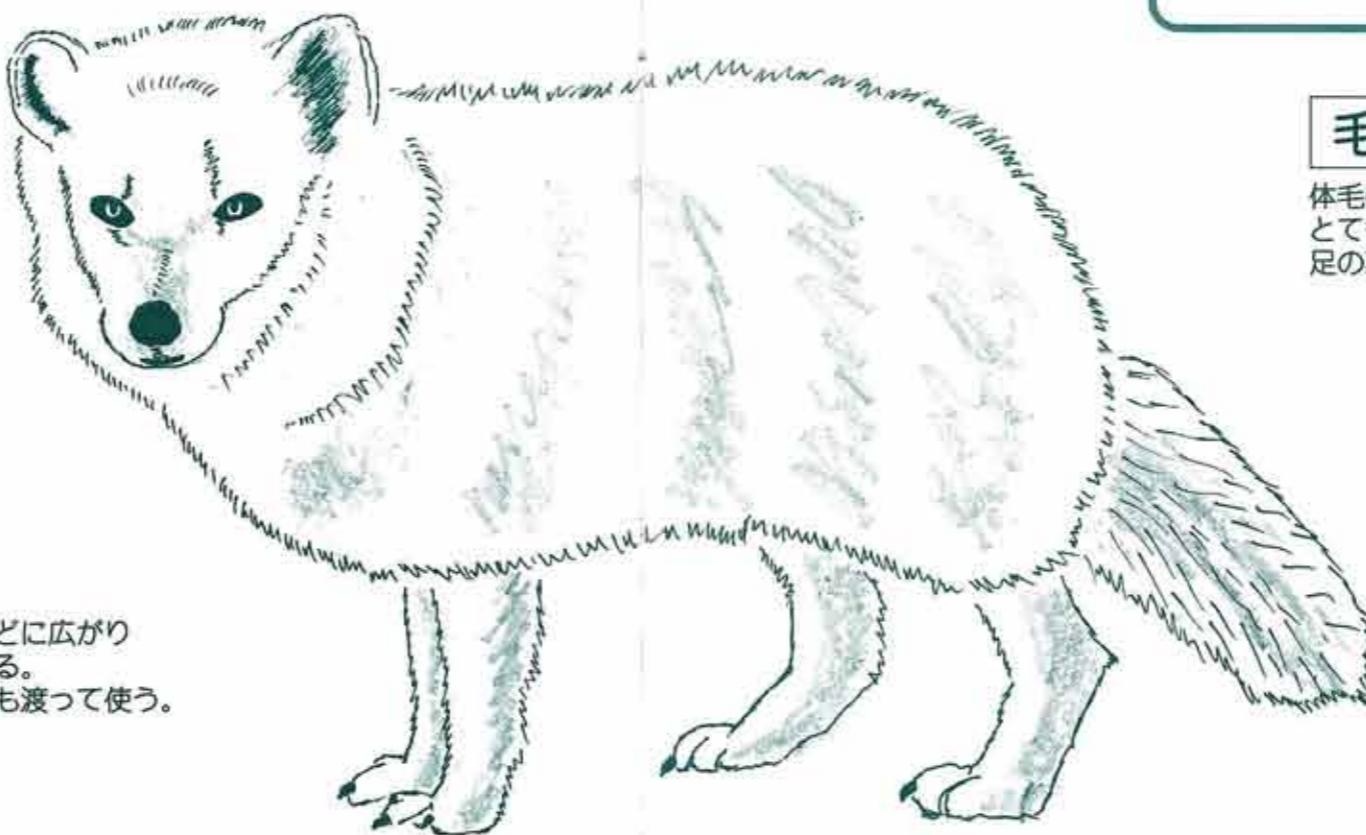


**体** オスは体長55cm。  
尾長31cm。  
メスはひと回り小さい。

### 耳・顔

ほかのキツネに比べ、  
鼻づらは短く耳も小さい。  
寒冷地への適応。

●アレンの法則  
近縁の種では、北方へ  
分布するものほど、  
耳、尾、鼻先など体から  
突き出た部分が小さくなる。



### 巣

地表から深さ3mほどに広がり  
出入り口も数ヶ所ある。  
同じ巣穴を何世代にも渡って使う。



ホッキョクギツネ



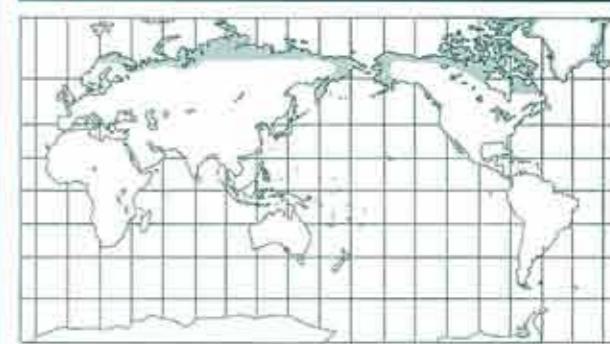
キタキツネ

## キツネの分類

キツネの仲間は4属21種に分けられます。ホッキョクギツネはその中の1属1種。

キタキツネなどのキツネ属（*Vulpes*属）によく似ていますが、頭骨の特徴と極地気候への適応から別属に分類されています。

## ホッキョクギツネの分布



## 寒中ガマン大会？

本来、野生では-50°C以下という厳寒の地で暮らしているので、旭川の冬なんて全然へっちゃら。じゃあマイナス何度まで大丈夫なのか？というと、なんと-70°Cくらいになつたら、ちょっとだけ寒がりだすんだって。

君とガマン比べはできません…。



参考・人類文化社  
極地の哺乳類・鳥類

### 毛

体毛の70%は細くて温かい下毛。  
とても濃密で冬でもボカボカ。  
足の裏にも生えている。

### 生活

昼行性。泳ぎも上手。  
冬ごもりはしない。

### 仔

春先に交尾。  
妊娠期間は50日ほど。  
10頭前後の仔を産む。

## 衣がえ

ホッキョクギツネは、ホッキョクグマのように1年中白い毛ではなく、夏と冬で体毛の色が変わります。また、ホッキョクギツネの毛色には「白色型」と「青色型」の2パターンがあり、白色型は冬期、全身白色となり、夏期には灰褐色に、青色型は冬期に青灰色、夏期には暗褐色になります。

この2つのパターンは、地域により違いが見られ、例えば、カナダ北部では青色型は全体数のわずか1%ぐらいと少なく、グリーンランドでは青色型が過半数を占めています。それぞれの生息環境が、どの程度雪に覆われるかで、どちらの型が優勢になるかが決まるようです。

## もこと北極、そして南極

2号にわたり、極寒に生きる動物を大使に選びましたが、ほかにも厳しい寒さと闘いながら、たくましく生きている動物がたくさんいます。哺乳類ではオオカミやトナカイ、ジャコウウシ、ユキウサギなど、またクジラやアザラシの仲間もいます。鳥類ではシロフクロウやワシ・タカ類、ライチョウやガン・カモ類など。中でも注目すべき鳥は渡り鳥世界一の長距離移動者、キヨクアジサシ。この鳥はなんと北極から南極大陸の近くまで移動し、その往復距離は最長36,000kmにもなります。スゴイでしょ！

そして、もうひとつ極地。南極にもペンギンなどたくさんの動物がいます。何か北極のことを調べてたら、南極のほうも気になってきました。そのうち南極の特集もやろうかな…。



キヨクアジサシ

# 2003年 みどりくまッパー

今年も  
魅せます  
旭山動物園

①ととりの村

フラミンゴ  
冬の間、寝室で巣作りをしてました。産卵に期待！



ガン・カモ・ハクチョウ  
地面にうずくまっているのは元気がないの？  
いいえ、卵を抱いているんですよ。



②ペんぎん館

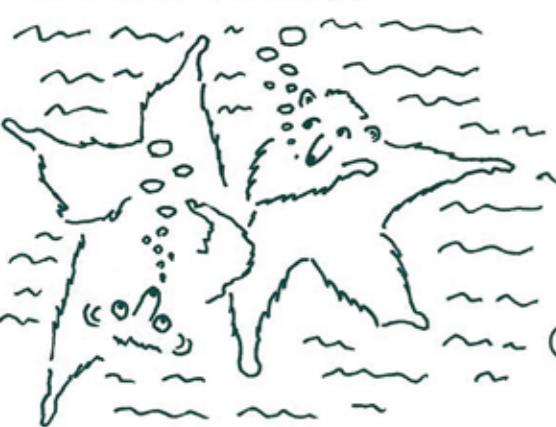
水中給餌やってます。  
時間をチェックしてお見逃しなく！



③もうじゅう館  
(ライオン・トラ・ヒョウ・ヒグマ)  
ヒグマのトン子ちゃんはお客様が大好き。君を気に入るとついてくるよ！



④ほっきょくぐま館  
ハッピーもやっと  
プールに入れました。  
イワンと仲良く  
「シンクロ」やってます。



⑤小獣舎

(ホッキョクギツネ・キツネリス  
レッサーパンダ・ウンピョウ  
ヤマアラシ  
「早く雪降ないかな？」って  
オイオイ！)



⑥タンチョウ  
実はペアが入れ替わりました。



Ⓐせせらぎ

Ⓑステージ  
Ⓒ1F動物資料展示館  
2F動物図書館  
Ⓓ事務所

⑧北海道産動物

(フクロウ・野鳥・リス)  
キツネ・タヌキ  
春です。バードウォッチングに出かける前に  
ここで勉強しましょう。



⑩クジャク

去年はクジャクたちの間でイジメ騒動がありました。今年は仲良くね！



㉔こども牧場

ブタのブークは「お手」をする。ホントだよ！



㉕キリン

タミオの目線から見おろす  
旭川はどんなだろう？



㉖カバ

娘のナミコは神戸に嫁ぐ予定です。



東門



㉗さる山

あのおさるさん誰かに似てる！こっちのおさるさんはあの人に…。  
そんな見方もオモシロイ。



㉘カピバラ

彼らを見ると心がいやされるのはボクだけでしょうか？



㉙トナカイ

トナカイはオスもメスも角があるんだよ。知ってる？



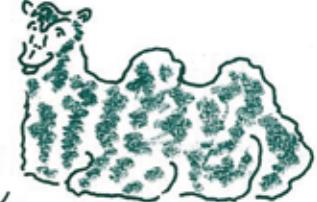
㉚ワピチ

オスは角が落ちると急にヨワヨワになっちゃう。



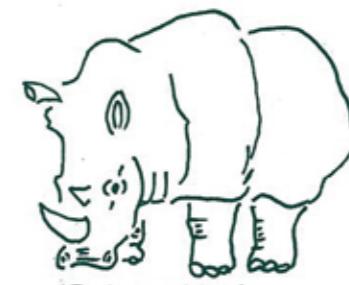
㉛オランウータン

リアンは軽やかに、ジャックは重たそう。  
空中散歩は見逃せませんよ！そしておなかにちびウータン。



㉜フタコブラクダ・ドブラ  
春のラクダはボーロボロ。  
毛変わり中です。  
みっともないなんて言わないでね。

㉝マルミミゾウ  
この冬はしもやけにならず、快適に過ごしたナナでした。



㉞シロサイ

春になるとノシオのステップも軽やかになります。



㉟ダチョウ・エミュー  
ダチョウが突然座り込んで首を右へ左へ…あなたは好かれました。  
それは求愛ダンスです。

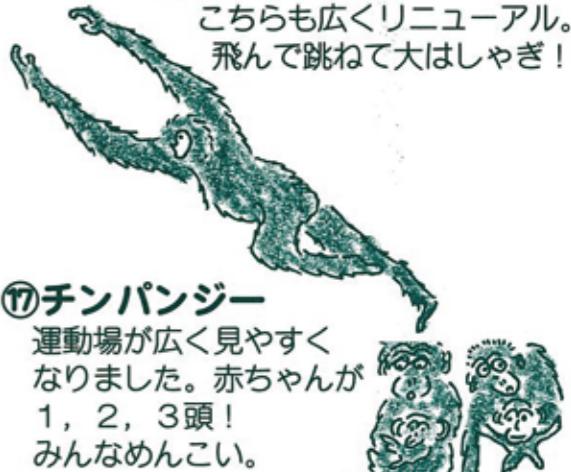


㉟ゴマファザラシ

ゴマちゃんはゴマもよう。  
タマちゃんはひげボーボー。  
違いがわかるかな？

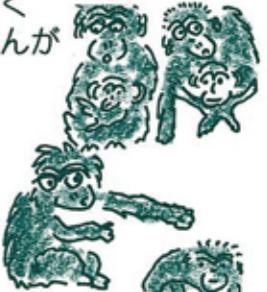
㉟サルアパート

こちらも広くりニューアル。  
飛んで跳ねて大はしゃぎ！



㉟チンパンジー

運動場が広く見やすくなりました。赤ちゃんが1, 2, 3頭！  
みんなめんこい。





# こども牧場だより

—シロヤギさんのメール—

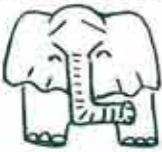


2003年、開園です！みなさん、今年の干支は何ですか？そうです、ヒツジです！こども牧場にも2頭のヒツジがいるので、今回はその2頭と、ヒツジという動物についてお話ししたいと思います。

こども牧場のヒツジは以前に紹介したボニーの隣で暮らしています。顔が黒い、サファーオークという種類のヒツジです。2頭は親子で、どちらもメスです。お母さんはドリーという名前で、今年で8歳。娘のボニーは今年で6歳になります。2頭はそっくりですが、耳に切れ込みが入っているかどうかで見分けることができます。切れ込みが入っているのがお母さんのドリーです。ヒツジは柵越しにしかさわることができませんが、ぜひぜひカフカの羊毛を素手でさわってみてほしいです。なぜ素手でかというの後ほどわかります。

さて、ヒツジは「家畜」とよばれる動物です。世界には目的に応じて改良されたヒツジが1,000種類以上います。その目的とは大きく分けると「毛・肉・乳」の3つです。ヒツジはたくさんいる家畜の中でも特に人間の役に立つてくれているのを知っていますか？ヒツジは私たち人間にたくさんの贈り物をしてくれています。まずあのフワフワの毛。みんなの着ている服に「ウール」と書いてあたらそれはヒツジの毛です。こども牧場では毎年5月頃に毛刈りを行うのですが、1年たつと刈る前と同じくらいに伸びています。つまり毎年、毛を提供してくれるのです。みなさんは「ラム」とか「マトン」って聞いたことありませんか？「ラム」は仔ヒツジ、「マトン」はおとなヒツジの肉です。また、ヒツジのミルクはそのまま飲んだり、チーズやヨーグルトに加工されたりします。そして腸はソーセージの皮として使われるのです。そしてちょっと意外なものでは「毛脂（ラノリン）」と「うんち」。ヒツジの毛をさわると、フワフワだけど少しベタベタした感じがします。それがラノリンです。ラノリンは石鹼や口紅の原料として使われます。うんちは肥料や燃料として使われ、トマトやイチゴ、メロンなどはヒツジのウンチを肥料に使うととても甘くなるそうです。

今年は昨年刈ったヒツジの毛を使って何かしたいなあ…と考えています。ヒツジからの贈り物をみなさんにおすそわけできるかな？それでは最後になりましたが、今年もこども牧場の動物たちをどうぞよろしくお願いします！



## 動物園事情



### 移入種問題

北海道でもカブトムシ採りができるようになって、喜んでいる人もたくさんいると思う。私が子どもの頃、父親が本州に出張すると、おみやげとしてカブトムシを持ってきてくれた。嬉しくて抱いて寝て、自分で採る夢を見たものだ。夢が実現したのは大学時代に長野県の親戚を訪ねた時だった。

そう、カブトムシは北海道には生息しない生き物だったのだ。それが、今では旭山動物園で見つかることもあるし、W町では町興しとして取り組もうとして話題になっている。子どもの頃の私だったら、嬉しくて寝ていられないと興奮しただろう。

しかし、今は不安でいっぱいだ。人の手によって広められたカブトムシが、元々いた昆虫の生きる場（ニッヂ）を奪ってしまい、生態系へ大きな混乱を与えることがあるからだ。これが、移入種問題の根元だ。

移入種には、最近問題となっている外国産クワガタのように、在来種と遺伝的に近い種もある。その場合は、小型の在来種が大きな外國種との生存競争に負けてしまい絶滅してしまったり、両種が簡単に交配して雑種ができる、気がつくと純粋な在来種がいなくなってしまうりと、さらに大きな問題を引き起こしてしまう。一度野に放たれてしまうと、本来の自然を守るうえで実際に大きくてやっかいな問題となってしまうのだ。

旭山動物園では、この移入種問題を多くの人々に知って貰おうと以前から考えていた。そこへ01年7月「大沼公園の沼でコクチバスが釣り上げられた」との情報が入った。日本で唯一ブラックバス清浄地である北海道でも、ついにブラックバスの密放流が確認されたのだ。その後余市ダムなどでも次々と発見され、多くの関係者が怒りを持ってその対策を講じている。個人の楽しみで勝手に放たれたブラックバスが、どのような環境破壊を起こしてしまうかは、琵琶湖を始め日本中の湖沼で確認済みである。恐らく全ての在来種を食い尽くしてしまうだろう。

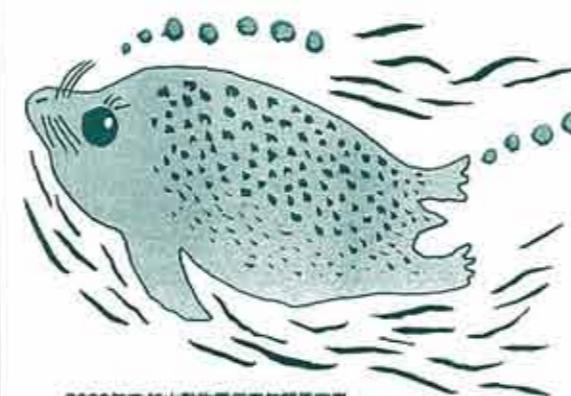
北海道庁は、何とかして今のうちにブラックバスを根絶やしにしようと、漁協や自然保護団体など多くの関係者と協議をして、最も有効な方法として水中発破による完全駆除を目指した。この姿勢は北海道が真剣にブラックバスから在来魚を守り、現在の北海道固有の自然を守ろうとする強い意志の現れた。

ところが、水産庁は水産資源保護法に抵触することを理由に、発破の見直しを北海道に要請した。ここで、この法律の目的を考えてみよう。“水産資源を保護するため”に、この法律はあるはずだ。完全駆除の手法として現時点で発破以外に方法が見つからないとすれば、特例措置として認めていくという姿勢が必要なのではないだろうか。ニシマスのように北海道各地に分布してしまってからでは手のつけようがない。拡がってしまう前の今、完全に叩いておけば、被害は最低限ですむはずだ。法律は法律のためにあるのではなく、具体的な実効性のためにある。

北海道には北海道の自然があり、私たちもその中で生きている。みんなで、この自然を大切にしていきましょう。

2003

s	m	t	w	t	f	s
4	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			
5	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
6	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					



s	m	t	w	t	f	s
9	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				
10	5	6	7	8	9	10
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2004

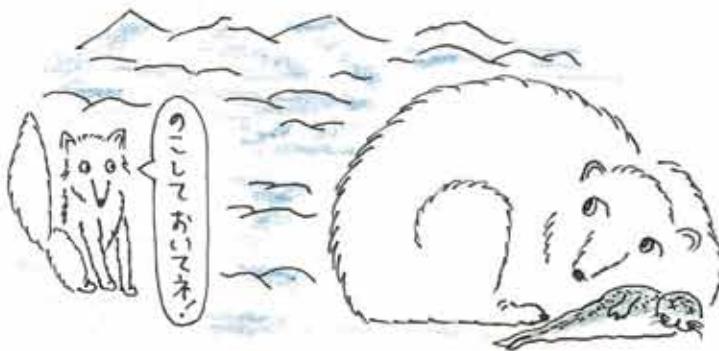
s	m	t	w	t	f	s
1	4	5	6	7	8	9
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
2	1	2	3	4	5	6
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						
3	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

s	m	t	w	t	f	s
7	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
8	3	4	5	6	7	8
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						



# 主なできごと

8月1日 飼育勉強会 「キリンのえさかごについて」 「コールダックの人工孵化について」 (畠山)	10月20日 夏期開園日 わくわくゲーム大会35チーム参加
8月24日～10月20日 移入動物の現状展	10月22日 アムールヒョウ死亡 (毛球誤嚥による窒息)
9月1日 キングペンギン1羽孵化	10月29日 飼育勉強会 「日米海鳥シンポジウム／ワークショッピング 羽幌に参加して」 (森上)
9月6日 ホツキヨクグマ購入	11月3日 冬期開園 「獵匠の技術を動物園に取り入れるために」 (木樽)
9月21日 「まっきょくぐま館」オープン	11月15日 飼育勉強会 「チンパンジーの亜種について」 (中田)
9月21・22日 日本動物園水族館教育研究会全国大会 「学校教育における講師派遣について」 奥山英登	11月26～28日 第50回全国動物園飼育技術者研究会 「ハリネズミの腫瘍を疑う症例に対する 外科的アプローチの検討」
9月25・26日 日動水協北海道ブロック秋季飼育技術者研究会 「チンパンジー舎の檻の改修と エンリッチメントについて」 中田真一	「動物園獣医学を活用した人に伝える活動への 取り組み」 福井大祐
10月3日 飼育勉強会 「フンボルトペンギンの繁殖状況について」 (丸)	「仮親に育離させたオオサマベンギンの 繁殖例について」 丸一言
	「キツツキ目およびスズメ目に対する 人工授精の試み」 木樽隆介
	12月27日 飼育勉強会 「旭川市内におけるエゾリスの野生生息地に ついて」 (高橋久)
	1月11日 ジェンツーベンギン死亡 (卵秘)
	1月26日 冬の動物園観察会
	2月17日 第9回動物園水族館獣医師臨床研究会 「ベンギン3種の血清中電解質濃度について」 坂東元
	2月16日 冬の動物園観察会
	3月5日 アムールトラ採精
	3月7日 ブラッザグエノン出産
	3月16日 冬の動物園観察会
	3月18日 トナカイ死亡 (肝蛭症)
	3月24日 ポルネオオランウータン出産
	3月26日 ゴマファザラシ出産



## 飼育動物数

(平成15年3月末現在)

ほ乳類	49種	213点
鳥類	91種	514点
爬虫類	12種	36点
合計	152種	763点

## 編集後記

夏期開園、雪の中の動物園も入園者数新記録。たくさんの来園者に来ていただいてうれしいのですが、はたして僕たちが伝えたいことがどれだけ伝わっているのでしょうか。今一度初心に返り、新たな取り組みにチャレンジしていきたいと思います。

年度末にオランウータン、ゴマファザラシの出産とうれしいことが続きました。昨年9月に孵ったキングペンギンのヒナも独立立ちの時を迎えようとしています。飼育下では意外と難しい当たり前の命の営みを当たり前に、自然に観てもらう。まだやること、できることはあります。モユクカムイもリニューアルしようかな?

開園だよ!



## モユク・カムイ No.65 平成15年4月26日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎ 0166-36-1104  
発行 小菅正夫 <http://www.arc-net.co.jp/shoukou/zoo/>  
編集委員 中田真一・坂東元  
印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎ 0166-51-0653